佐賀県水難救済会唐津マリン救難所に救助船を配属

公益社団法人日本水難救済会では、平成２４年１１月２７日、佐賀県水難救済会唐津マリン救難所に救助船「ＥＸ２９」を配属いたしました。

佐賀県水難救済会への救助船配属は初めてで、１２月７日（金）午後１時３０分から唐津市二タ子の唐津市船舶上架施設において、「坂井俊之」佐賀県水難救済会会長（唐津市長）、「向田昌幸」日本水難救済会理事長及び「星野誠」唐津海上保安部長等関係者が出席し、同船の披露式が執り行われました。

唐津マリン救難所は、「増本善明」救難所長をはじめ１９名の救助員により、唐津港周辺沿岸における海難救助を実施しているほか、各種海上訓練への参加、夏場における海水浴場の警戒を行っており、今般、救助船が配属されたことから一層の活躍が期待されております。

救助船の要目等

船　名：ＥＸ２９（近日中に船名を「レスキュー玄海」に変更する予定）
船　質：ＦＲＰ　　長さ：８．９３ｍ　　幅：２．３８ｍ
深　さ：０．７５ｍ　　総トン数：２．８トン
機　関：ヤンマー製　　形式：６ＬＰ－ＤＴ
連続最大出力：１５１ｋｗ（２０５ＰＳ）
就　役：平成２２年３月